

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	平成27年5月24日 13時30分～15時40分
開催場所	浪岡中央公民館 3階会議室
会場責任者	中田 靖人
記録者	村川みどり、山本 武朝
出席議員	渡部伸広、渋谷 勲、長谷川章悦、小倉尚裕、木下 靖 斎藤憲雄、館田瑠美子、花田明仁、中田靖人、村川みどり 天内慎也、橋本尚美、山本武朝 以上13名。 ファシリテーター・・・青森大学准教授 榎引素夫氏
参加者数	17名（全参加者数31名）
報告内容	・「子ども医療費助成について」 斎藤議員より 中学生までの医療費の助成（無料化）が先の定例会（3月）で可決、成立した旨の報告。
報告に対する 質疑・意見・回答の要旨	市民：なぜ可決されたのか？なぜ財源ないのに可決されたのか？財政破綻したら誰が責任取るのか？これからいっぱいお金かかるのに。賛成した議員は説明する必要がある。説明の義務を怠っているのではないか。 なぜ住民アンケートやらないのか？自分の子どもは大きくなってメリットがない。基金も5千万円しか残らない。・・・大変なことになる。 榎引：可決されたこれまでのプロセスがあるが、わからない方は？（挙手を求める）（一人挙手） 市民：（市から）中身の説明何もないのか？ただやりたいというだけで、詳しい説明なかったのか？ 榎引：市の意識の確認とデータ不足していないか？ 中田：何を財源の根拠としているのか、市に説明を頂きたい！と求めた。議会基本条例にもあるように・・・ 一般財源が4億円から5億円。何をスクラップするのか、根拠とするのか示されなかった。・・・ その中で、2億6120万円の努力目標の数字を出してきたが、まだどの事業に影響するのか？ 住民税を上げる可能性もある。 榎引：市の説明がわかりづらい。 木下：制度自体には賛成だが、市は行財政改革に努めるという説明だった。2億幾らという数字も、出してきたのが、議会最終日前日の3月23日。議論する時間がない状況であった。

市民：議決しないで、退場する方法もあったのでは？議会が軽視されている。

小倉：確かに財源のない中、交付金を活用し、今後、活用できる財源を探していくべき。

市民：財源がなかったときどうするのか？

館田：市民の意見を聞いてから・・・といいますが、この問題は以前から要望されていたもので、拡充の署名を提出し、市民の強い願いであると受け止め、賛成した。

榎引：青森市は、人口減少が進んでいる。将来に対する対策をしなければいけない。

財源・説明責任・・・方向性が違うために、分けて議論する必要がある。市の提案の手順について・・・

斎藤：議案は開会の1週間前に、提案議案として説明され、議論が始まる。財源や他の自治体の状況など。

開会して資料が出され、(今回の子ども医療費助成は) 予算特別委員会から具体的な議論になってきた。

市民：納得して採決するならいいが、みんな納得しているのか？

榎引：資料を求めることなど、手順は踏んでいる。

小倉：われわれも健康福祉部や財務部などからの提供を求めていた。

今回、国の地方創生交付金があり、今の時期がいいとなった。

榎引：確かに地方創生交付金は時間のなかで出てきたもの。一方、市民にプロセスも含め、もう少し議会として説明が必要。

市民：予算を有効に使うこと。理解・協力を得るべき。

榎引：みんなが納得できるように、わかりやすい説明が必要。議会も理事者も市民もまだまだ努力が必要。

橋本：(財源) 大丈夫かな？という点もあったが、最大の市民サービスであり、人口減少対策にもなる。

これから行財政改革の中で、選択と集中をしっかりとやっていくという事なので、しっかりと見極めていく。

榎引：よりくわしい具体的な根拠が必要？人口減少対策シティプロモーションである側面と、子どもにやさしい街づくりの部分でもある。どのような施策が有効なのか？

渡部：子どもの医療費無料化はここ20年くらいで進んできているもの。

それで人口は増えたか？増えていない。疑問だ。

子育て支援としてはよいが、人口減少対策として有効だというデータはない。

榎引：青森市の最大の要因は、18歳から22歳が県外に流出してしまうこと。また、子どもの数も減ってきているのが、要因である。

どういう視点が必要か、提示していただきたい。

市民：議員と語り合っている気がしない。浪岡のことを意見交換した

	<p>い。もう決まっていることの見解求められても困る。</p> <p>榎引：子ども医療費の件は、①丁寧な説明が欲しかった②人口減少社会に対する施策を示すべき</p>
<p>意見交換内容 (質疑・意見・回答 の要旨)</p>	<p>榎引：ここからは自由に意見交換の場となります。浪岡会場ですのでよろしければ浪岡地区について意見交換したいと思います。</p> <p>今年度から浪岡自治区は合併後 10 年を経ましたが、更に 6 年の自治区延長となりました。</p> <p>長谷川：浪岡では自治区協議会で、浪岡での様々な課題が検討・議論されている。現在、その委員は 10 名である。</p> <p>榎引：市議会に、協議の内容は見えているのか？</p> <p>市民：浪岡自治区協議会—市民には見えない。協議会には、市から幹部が来て資料を配って、決まっていることを説明し「こうして下さい」と説明するだけ。先日は平成 27 年度予算を説明された。もう決まっていることを説明される説明会のようなもの。残念でならない。・・・</p> <p>なぜ浪岡がいつまでも青森と同化しないのか？同じ市でない。青森にむかっていない。浪岡を青森に取りこむためにどういう事をやっているのか？浪岡からは三内丸山に行くけど、浪岡にある城址や美人川や湿生花苑などには、青森からは来ない。分断されている。</p> <p>国道 7 号線はいつまで 1 車線なのか？冬期間は渋滞してしまう。</p> <p>榎引：浪岡と青森では、選挙区が違う。青森市に取り込むような施策は</p> <p>天内：浪岡の住民感情も含め、同化されていない。それは 100%むずかしい。そうした中でも、住民アンケートを実施して、住民の声を聞いてきた。その意見の中には、市の広報に浪岡のことが少ないことや、市営バスの便数が減らされてきたことなどを、取り上げ不十分ですが努力してきました。</p> <p>榎引：どういう思いで、議員活動にとり組んでいるのか？</p> <p>渋谷：我々野党第 1 党。合併によって親子になったと思っている。衆院選挙区が 4 区というのは、国につっぱっていく。合併特例債 30 億円のことは、説明がなかった。各派代表者会議でも直前に出されてきた。</p> <p>市民：共産党に聞きたいが、さっきの子どもの医療費助成のことで、全員に同じく所得の高い人も弱い人も一緒くたにやるっていうのに、いつもの共産党とは違うのではないのか？</p> <p>館田：反対した方が提案した修正案は、非課税世帯だけで 10%ちょっとしか対象にならないというもの。子育て支援にもならない。県内でも 19 市町村が中学生まで無料実施している。全国でも</p>

60%の自治体で実施。それだけ必要なものになっている。親の収入ではなく、すべてのことが対象になるべき。学校の検診では、歯科で要検査となった子ども小学生では5割、中学生では7割が受診していない状況。

橋本：子ども支援。子ども応援の施策だと思っている。

花田：アンケートしっくり来ない。対等合併なのに、浪岡にやりすぎではないかという声もある。・・・

どうしてしっくりきていないのか？聞きたい。

市民：100億円と100億円約束したのに、26億円を市役所建替えに使うのか不思議だ。なんとしても青森側は使いたいようだ。

渋谷：市長が自治区にお願いして認められたという経緯がある。

市民：自治区に権限はない。説明会みたいなものだ。

市民：市の職員には100億円ありきではない！と言われている。26億円ももう使えない。市町村建設計画に入っていないものは使えないと言われた。市の職員にだまされた。

中田：いま33億円を市庁舎建設に使うには、自治区協議会から4つの条件が出された。自治区の了解を取ったものだと認識している。本当に浪岡の了解があったのか？庁舎に使いたかったのか・・・

楢引：浪岡の了解・説明の仕方・事実関係・自治区の運用に課題がある。

市民：26億円で市庁舎を作ってくれ！と言った議員がいた。(約束した)作るものを作ってくればいい。

楢引：現状改善の余地がある。議会としてどう受け止めるのか？

小倉：浪岡は自治区協議会という制度をとっている。全国的にはめずらしい。国の中でも最後の検証をしている。青森市がモデルになっている。注目している。市町村建設計画の変更は全国初。どう進めるのがいいのか。議論が必要。

市民：小倉さんの話で納得できた。いつも疑問に思ってきた。決定機関ではないという事。はじめから「賛成ですね。これをお願いします！」となっている。何かと決定したと言うイメージはない。質問も出るが些細な質問で。次回、回答も返ってこない。会議を押さえて終わらない。どちらも不満がある。

渋谷：(自治区協議会から)きっちり賛同を頂いた！と、市は説明してきた。

市民：われわれが自治区協議会に入る前に決まってしまうていたこと。会議になっていない。・・・流されて終わり。

楢引：(自治区協議会の)運用のあり方・形式主義に陥っていないか。何を改善しなければならないのか。

市民：内部で真剣に考えなければいけないし、深く反省している。

楢引：自治区の形骸化。更なる制度の充実が必要。

斎藤：自治区には決定権はないけど、協議会で4つの条件を議論されて出されているものと認識。
協議会の自立性が出てこない

市民：市長との何でもトークで、浪岡病院も中学校も、いつまでにやります！なのか？
中学校給食のアレルギー対応の話をたら、市長が「やります。検討しています」と言った。
今の市長になってから、駅前の整備も2年先送りになった。

榎引：地元の議員がもっと・・・

市民：自治区協議会の委員2年間で交代で、最初っからになる。

小倉：中学校も病院も、浪岡町の時代であればやっていたもの。

榎引：自治区協議会をどうデザインしていくのか

長谷川：独断ではやっていない。協議会で出されたことを中心に議会で質問している。無視はしていない。
一体感を持つようにやっていければ。いいものがいっぱいある。地区住民が一体となって、いい浪岡にするようにしていかなければ。

榎引：青森にも幸畑団地協議会がある。浪岡は他地域の模範となるような地域に

市民：今日は議員の顔が見えてよかった。ただ、日常議員の活動が見えてこない。何をしているかわからない。
選挙の時以外会わない。もっとこうした機会を作ってほしい。

榎引：五所川原・弘前・八戸市・県議会といろいろ見てきた。後援会の意識しかない議員もいる。どう開かれた議会にしていくのか？全国的に見ると、差が出ている。議会事務局の役割も重要。

渋谷：私が議長の時からだいぶ改革してきている

榎引：青森市は県庁所在地。県内だけでなく全国の県庁所在地と張り合ってほしい。

市民：アウガについて聞きたい

中田：昨年の6月策定された再生計画の結果が出された。今後の4期にわたって「赤字」である見通しが示された。事実上破綻している。市長の決断を求めたが、市長は民事再生も公金投入もしないと明言した。つまり市長は経営判断しないことを表明したことになる。しかし政治判断しなくてはならない時だ。
いまの経営陣で再生できるのか？

渋谷：6年前、全回一致で2億円の補填をした。それも一括で返すと。市長は5月末に私が判断する！と言った。
古川一丁目12番地も絡んでいる。

榎引：最後に

市民：合併特例債は借金。建物を建てたはいいが、この後の維持管理

	<p>どうするのか。無駄が多いような気がする。合併特例債を使った結果について、今後関心を持っていただきたい。借金はいくらで、今後どう返すのか？実感を持つような議会であってほしい。公園とかに響くのではないか。市の税制を圧迫しないように考えていくべき。浪岡に目を向けて、何とかお願いします。</p> <p>榎引：社会のデザインを組み込んで提案していくことが大事。</p> <p>舘田：閉会のあいさつ</p> <p>終了</p>
<p>記録者所見</p>	<p>これまでの議会報告会と違って、市民、議員の双方から忌憚のない発言が出来た。参加者からも今回の議会報告会は率直な意見交換が出来てよかった、また参加したいと好評であった。</p> <p>進行役のファシリテーターのお蔭で、双方の責任ある発言を引き出して頂き、緊張感もあり、参加者からは好評であった。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

平成 27年7月17日

上記の通り報告いたします。

会場責任者 中田 靖人

出席議員 渡部 伸広

出席議員 渋谷 勲

出席議員 長谷川章悦

出席議員 小倉 尚裕

出席議員 木下 靖

出席議員 斎藤 憲雄

出席議員 舘田瑠美子

出席議員 花田 明仁

出席議員 村川みどり

出席議員 天内 慎也

出席議員 橋本 尚美

出席議員 山本 武朝

